

水環境 大切さ学ぼう

四日市「森」「川」「海」テーマに

8、9日

水環境の大切さを知ってもらうイベント「環境フェア」が八、九日、四日市市菅生町の四日市大など市内三カ所で開かれる。各会場ではそれぞれ「森」「川」「海」をテーマに、主に子どもたちに楽しみながら学んでもらう。

浄化槽管理など環境関連事業を展開する四日市市野田一の「産業」の主催。「森」「川」の四日市大で、環境に関わる市民グループや行政など二十五団体がブースを設ける。活動紹介のパネルを展示するほか、水質検査やまき割り体験、木工教室などもあつた。

(第3種郵便物認可)

けいざいコーナー

宝産業(桑名市)は、唐辛子を使って味付けしたしぐれ商品「めし盗賊」を十日から販売する。唐辛子と合わせ



唐辛子を使って炊きあげた「めし盗賊」=桑名市福岡町の瑞宝産業で

新しぐれ「めし盗賊」発売 唐辛子とコラボ

しぐれ製造販売の瑞宝産業(桑名市)は、唐辛子を使って味付けしたしぐれ商品「めし盗賊」を十日から販売する。唐辛子と合わせ

港の歴史や企業の環境保全技術を紹介する。開催時間は午前十時～午後四時。各会場を結ぶ無料シャトルバスを運行する。◎東産業 059(332)2323 (可奇谷)

広域避難の課題を整理

木曾三川下流の5市町と国交省



広域避難計画策定に向けたアクションプラン案を説明する群馬大の片田敏孝教授ら。桑名市の木曾川下流河川事務所

木曾三川下流部の五市町や国土交通省中部地方整備局でつくる木曾三川下流部高潮洪水災害広域避難検討会の一の会合が五日、桑名市の木曾川下流河川事務所であり、広域避難計画の策定に向けたアクションプランの案をまとめた。

首都圏防災研究センターから一長の片田敏孝教授は「広域避難で誰がどのよう動くかは前例がない。何もなしで開き、

新旧の祭り見出

朝日町 小向八王子



朝日町小向で毎年八月十三日に行われる真展が、設け開六日、町無祭りにおろつ催。上輩ちが、機をたたきどを撮影

計画策定のために、解決すべき課題をまとめたのがアクションプラン。案では避難先の確保、避難経路、鉄道やバスの活用、避難を始める意思決定の体制、逃げ遅れた住民の避難誘導など八項目について整理した。検討会のアドバイザを務める群馬大広域



新日の八王子祭の様子を紹介する写真展。朝日町教育文化施設で

「くた」た。

「を訪れ、青年委員会代